

## 平成21年11月期 第1四半期決算短信

平成21年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キャンドゥ

コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 城戸 博司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 古山 利之

四半期報告書提出予定日 平成21年4月13日

TEL 03-5944-4112

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年11月期第1四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第1四半期	16,208		380		415		152	
20年11月期第1四半期	16,302		472		497		163	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年11月期第1四半期	963.11	
20年11月期第1四半期	1,029.07	867.05

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年11月期第1四半期	23,180	8,251	35.6	52,826.09
20年11月期	25,130	8,453	33.6	53,098.81

(参考) 自己資本 21年11月期第1四半期 8,251百万円 20年11月期 8,453百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年11月期		500.00		500.00	1,000.00
21年11月期					
21年11月期(予想)		500.00		500.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	33,199		554		583		174		1,097.46
連結累計期間	68,229	7.9	1,180	273.8	1,240	192.7	315	217.1	1,980.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第1四半期	159,202株	20年11月期	159,202株
期末自己株式数	21年11月期第1四半期	2,993株	20年11月期	0株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第1四半期	158,423株	20年11月期第1四半期	159,202株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界同時の景気後退の影響を受けて生産と輸出が急速に落ち込む中、個人消費も冷え込みが鮮明になるという厳しい状況となりました。

こうした中当社グループは、組織変更を伴う販売体制の見直しを行い、本部から店舗への指導と支援を強化してまいりました。その結果、当第1四半期の売上高は予想比で未達だったものの、消費者の低価格志向が強まったことにもサポートされ、既存店売上高はほぼ前年並みで推移し、回復の兆しも見受けられました。新規出店5店舗、退店24店舗はほぼ想定通り、店舗数は19店舗減少して789店舗となりました。売上総利益率は仕入原価が想定より低下した反面、会計基準変更による棚卸資産評価減を計上したため、計画並みの水準となりました。販売費及び一般管理費、営業外収益費用、特別損益も概ね想定通りであります。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績は売上高162億8百万円（前期比99.4%）、営業利益3億80百万円（前期比80.6%）、経常利益4億15百万円（前期比83.6%）、当期純利益1億52百万円（前期比93.1%）となりました。売上高の構成は、直営店売上高142億71百万円（構成比率88.0%、前期比99.8%）、F C店売上高18億72百万円（構成比率11.6%、前期比96.9%）、その他売上高63百万円（構成比率0.4%、前期比97.7%）であります。

なお、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しているため、文中の前期比については参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により22億13百万円減少、投資活動により1億44百万円減少、財務活動により1億93百万円増加し、期末残高20億63百万円と前期末比21億60百万円減少となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は22億13百万円。

税金等調整前当期純利益3億81百万円に対して、減価償却費1億55百万円、未収入金の増加4億29百万円等が加算、仕入債務の減少24億16百万円、未払金の減少5億29百万円、法人税等の支払3億29百万円等が減算項目となりました。前期末日が日曜日で支払手形及び買掛金の決済が期超えとなったのに対して、当第1四半期末日は土曜日で買掛金のうち銀行振込による決済のみ期超えとならなかったことが主因です。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億44百万円。

主な内訳は、新規出店及び既存店改装による有形固定資産の取得支出1億16百万円等であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は1億93百万円であります。

主な内訳は、セール・アンド・リースバック取引による収入7億27百万円、自己株式の取得による支出2億77百万円、リース債務の返済による支出1億46百万円等であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月中間期及び通期の業績予想につきましては、第1四半期における業績が概ね計画どおり推移しているため、現時点では平成21年1月16日に発表いたしました予想から変更はありません。

### 4. その他

#### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間において、重要な子会社の異動はありません。

#### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として売価還元法による原価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法（貸借対照表額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ47,634千円減少しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買処理にかかる会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をリース契約上の残価保証額とする定額法を採用しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間の営業利益は3,641千円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,137千円減少しております。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 千円 )

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 2 月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,073,125	4,233,538
受取手形及び売掛金	311,843	432,767
商品	7,320,526	7,391,436
未収入金	2,190,333	2,542,581
その他	466,848	388,028
貸倒引当金	2,161	2,562
流動資産合計	12,360,516	14,985,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,919,469	2,917,863
その他	1,843,413	1,918,653
有形固定資産合計	4,762,882	4,836,516
無形固定資産	95,520	101,921
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,326,336	4,398,259
その他	1,656,004	836,754
貸倒引当金	20,816	28,524
投資その他の資産合計	5,961,524	5,206,489
固定資産合計	10,819,927	10,144,927
資産合計	23,180,444	25,130,716
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,512,661	11,927,698
1年内返済予定の長期借入金	247,900	241,200
未払法人税等	254,129	371,365
賞与引当金	109,499	3,908
その他	1,977,162	2,027,198
流動負債合計	12,101,352	14,571,370
固定負債		
長期借入金	777,900	838,200
退職給付引当金	289,606	275,879
負ののれん	695,071	704,593
その他	1,064,604	287,236
固定負債合計	2,827,181	2,105,908
負債合計	14,928,534	16,677,279

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,718,759	2,718,759
資本剰余金	2,756,129	2,756,129
利益剰余金	3,069,735	2,996,758
自己株式	277,017	-
株主資本合計	8,267,607	8,471,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,813	4,327
為替換算調整勘定	11,884	13,883
評価・換算差額等合計	15,697	18,210
純資産合計	8,251,910	8,453,437
負債純資産合計	23,180,444	25,130,716

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)
売上高	16,208,141
売上原価	10,543,673
売上総利益	5,664,468
販売費及び一般管理費	5,283,561
営業利益	380,907
営業外収益	
受取事務手数料	18,342
デリバティブ評価益	11,713
その他	20,444
営業外収益合計	50,501
営業外費用	
支払利息	8,167
雑損失	7,452
営業外費用合計	15,619
経常利益	415,788
特別利益	
受取補償金	27,251
前期損益修正益	17,848
その他	8,534
特別利益合計	53,633
特別損失	
固定資産除却損	69,048
減損損失	18,979
その他	120
特別損失合計	88,148
税金等調整前四半期純利益	381,274
法人税等合計	228,695
四半期純利益	152,578

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年12月1日  
至 平成21年2月28日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	381,274
減価償却費	155,632
減損損失	18,979
負ののれん償却額	9,521
長期前払費用償却額	7,863
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,108
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,727
賞与引当金の増減額(は減少)	105,591
受取利息及び受取配当金	202
支払利息	8,167
為替差損益(は益)	1,823
デリバティブ評価損益(は益)	11,713
固定資産除却損	40,472
有形固定資産売却損益(は益)	425
売上債権の増減額(は増加)	120,924
たな卸資産の増減額(は増加)	73,141
仕入債務の増減額(は減少)	2,416,534
未収入金の増減額(は増加)	429,180
未払金の増減額(は減少)	529,266
その他の資産の増減額(は増加)	58,857
その他の負債の増減額(は減少)	194,757
小計	1,876,257
利息及び配当金の受取額	194
利息の支払額	8,167
法人税等の支払額	329,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,213,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	116,206
貸付金の回収による収入	1,410
長期前払費用の取得による支出	5,660
敷金及び保証金の差入による支出	59,081
敷金及び保証金の回収による収入	34,752
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	144,774

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年12月1日  
至平成21年2月28日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	53,600
セール・アンド・リースバック取引による収入	727,833
リース債務の返済による支出	146,598
自己株式の取得による支出	277,017
配当金の支払額	56,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	193,883
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,738
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,160,426
現金及び現金同等物の期首残高	4,223,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,063,056

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日）

当社及び連結子会社の事業は、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

( 1 ) ( 要約 ) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間 ( 平成19年12月1日 ~ 平成20年2月29日 )

科目	前年同四半期 ( 平成20年11月期 第1四半期 )
	金額 ( 千円 )
売上高	16,302,727
売上原価	10,493,040
売上総利益	5,809,687
販売費及び一般管理費	5,337,069
営業利益	472,618
営業外収益	
受取事務手数料	18,487
その他の営業外収益	35,663
営業外費用	
支払利息	17
雑損失	4,962
その他の営業外費用	24,687
経常利益	497,101
特別利益	
その他特別利益	269
特別損失	
固定資産除却損	99,533
その他特別損失	11,625
税金等調整前四半期純利益	386,212
税金費用	222,381
四半期純利益	163,830

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年12月1日～平成20年2月29日)

	前年同四半期 (平成20年11月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	386,212
減価償却	213,822
負ののれん償却額	17,771
長期前払費用償却額	10,943
貸倒引当金の増加額又は減少額( )	269
退職給付引当金の増加額	4,934
受取利息又は受取配当金	6,315
支払利息	17
デリバティブ差損益	18,241
為替差損益	1,968
有形固定資産除却損	46,305
有形固定資産売却損	1,329
長期前払費用償却費(特別損失)	10,296
売上債権の減少額又は増加額( )	61,234
たな卸資産の減少額又は増加額( )	53,613
仕入債務の増加額又は減少額( )	232,866
未収入金の減少額	341,656
未払金の減少額	109,118
その他資産の純減少額	45,487
その他負債の純減少額	199,974
小計	1,095,482
利息及び配当金の受取額	4,827
利息支払額	17
法人税等の支払額	52,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,047,654

	前年同四半期 (平成20年11月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	209,529
有形固定資産の売却による収入	837
無形固定資産の取得による支出	1,485
貸付金(割賦売上債権)の回収による収入	667
長期前払費用の支出	200
出資金の返還による収入	20
敷金保証金の差入による支出	2,500
敷金保証金の返還による収入	69,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	142,562
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権付社債消却による支出	755,000
配当金の支払額	82,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	837,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,968
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	65,758
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,882,629

### (3) セグメント情報

#### 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結会計期間（自 平成19年12月1日 至 平成20年2月29日）

当社及び連結子会社の事業は、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、該当事項はありません。

#### 〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年12月1日 至 平成20年2月29日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

#### 〔海外売上高〕

前第1四半期連結会計期間（自 平成19年12月1日 至 平成20年2月29日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

### 6. その他の情報

該当事項はありません。